

ラムサールCOP10で採択された水田決議の歩み

(日本雁を保護する会まとめ)

年	月 日	事 項	開催場所等	主催者・ 主要関係団体
1999年	5月13日	ラムサールCOP7 (1999) 期間中に非公式の水田会合を行う	コスタリカ・サンノゼ	日本NGO；JAWGP
2002年	11月18～26日	ラムサールCOP8 (2002)・決議(Ⅷ-34) *初めての農業に関する決議「農業、湿地および水資源の管理」(Ⅷ-34)	スペイン・バレンシア	
2004年	11月	国際シンポジウム・「水鳥の生息地としての水田」	韓国・ソサン市	KFEM
2005年	5月20日	第3回ラムサール条約湿地検討会； 人工的な湿地として、水田等を重要な湿地としてとらえ登録できるようにならないか等について議論。	日本・東京	日本国環境省
	10月10日	ラムサールCOP9 (2005、ウガンダ) で、燕栗沼が水田を積極的に含む初めてのラムサール条約湿地「燕栗沼・周辺水田」に登録される。	ウガンダ・カンバラ	日本国環境省
	11月14日	ラムサールCOP9でのサイドイベント：「アジアの驚くべき湿地・水田」；アジアモンスーン地域の水田の農業湿地としての生物多様性と賢明な利用の認識	ウガンダ・カンバラ	日韓NGO；KFEM、JAWAN、JAWGP
	11月14日	COP10に向けたNGO水田決議案作り開始		日韓NGO
2006年	7月14～16日	第7回韓日中環境保全型稲作技術会議	韓国・順天市	民間稲作研究所ほか
2007年	7月16～18日	第1回日韓田んぼの生きもの調査交流	韓国・洪城郡	民間稲作研究所ほか
	8月3～6日	第8回韓日中環境保全型稲作技術会議	日本・宇都宮市	民間稲作研究所ほか
	10月12～14日	第1回日韓NGO湿地フォーラム	日本・東京	日韓NGO
	10月24日	「ラムサール総会に向けた韓国NGOネットワーク」ワークショップ	韓国・ソウル	KFEM及び韓国環境NGO
	10月25日	「ラムサール総会に向けた韓国NGOネットワーク」結成式	韓国・ソウル	NGOネットワーク参加団体、KFEM
	10月27～28日	順天湾ツル国際シンポジウム	韓国・順天市	順天市
	10月30～31日	International Symposium for the Establishment of the East Asian Wetland Forum	韓国・昌原市	韓国ラムサール湿地センター
	11月1日	「湿地と田んぼ、湿地資源と農業」ワークショップ in 慶尚南道	韓国・昌原市	洛東江湿地事業団
	11月3～9日	東アジアツル類保全ワークショップ	中国・遼寧昌パンジン	
	11月12～14日	Ramsar 科学技術検討委員会 (STRP) 技術会合	韓国・昌原市	条約事務局
	11月12～15日	東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ会議	中国・北京	WI
	11月18日	NGO水田決議草案（「決議X.(案) 農業湿地としての水田の賢明な利用」）（日本語と英語版）が完成し、関係者への発信を開始		日韓NGO
	11月18日	NGO決議案を推敲し、締約国政府（日韓政府など）に、水田決議のCOP10への提出を働きかける。		日韓NGO
	11月21日	「湿地、農業基盤と生物多様性」国際ワークショップ International Workshop on Paddy Field Agriculture Ecosystem and Bio-diversity	韓国・昌原市	韓国農村公社付設農漁村研究院
	11月29日	ラムサールに向けた国際NGO会議	韓国・昌原市	日韓ラムネット
11月	水田決議案案についての国内の農業関係者からの聞き取り	日本・栃木県	環境NGO、民間稲作研究所	
12月29～30日	2008ラムサール総会 NGO会議準備のための韓日NGOワークショップ	韓国・昌原市	日韓NGO	

2008年	1月14～18日	ラムサールCOP10アジア地域準備会合	タイ・バンコク	条約事務局
	2月1日	韓国：ラムサールCOP10のための韓国NGOネットワーク結成（68団体）		環境関連団体、農業関連団体、消費者団体など
	2月19日	国際シンポジウム・2008年ラムサール総会と田んぼの生物多様性	韓国・ソウル	韓国生協連合会 田んぼの生きもの調査チーム
	2月	ラムサール条約第36回常設委員会	スイス・グラン	条約事務局
	3月8日	ラムサールCOP10のための日本NGOネットワーク（略称ラムネット）設立	日本・千葉県	環境関連団体、農漁業、消費者団体、関連企業など
	3月26日	ラムサール会議のための水田湿地及び農業湿地技術査問会議	韓国・ソウル	韓国NGO
	3月～4月	日本政府：決議案を作成し、農林水産省及び韓国との協議を経て決議案提出		日本国環境省
	4月29～30日	第2回韓日NGO湿地フォーラム	韓国	韓国NGO
	4月末	日韓両政府内での決議案についての調整を行い、ラムサール条約事務局へ提出		日韓環境省（部）
	5月24～26日	G8サミット環境大臣会議	日本・神戸	日本国環境省
	5月31日～6月1日	「ラムサールCOP10に向けてのワークショップ」	日本・千葉県市川市	JAWAN&ラム市民の会
	5月	ラムサール条約HPに、水田決議案が37回常設委員会で検討される決議案の一つとして掲載される。		条約事務局
	6月3～6日	ラムサール条約第37回常設委員会で、水田決議の文案修正して第10回締約国会議（10～11月、韓国・チャンウォン）に提出することが決定。	スイス・グラン	条約事務局
	6月22～25日	第4回アジア湿地シンポジウム	ベトナム・ハノイ	RCJ、ベトナム政府
	7月	ラムサール条約HPに、水田決議が、COP10決議案X.31として掲載。		条約事務局
	8月3日	第3回日韓田んぼの生きもの調査交流会	日本・新潟県阿賀野市	生物多様性農業支援センターほか
	8月30～31日	第3回日韓NGO湿地フォーラム	日本・東京	ラムネット&WWFJ
	9月13日	「エコアジア2008」議長声明で水田決議に期待	日本・名古屋市	日本国環境省
	10月26日	世界NGO湿地会議・水田セッション開催	韓国・スンチョン市	韓国ラムネット、KFEM
	10月28日	ラムサール条約第10回締約国会議開会	韓国・昌原市	韓国
10月31日	Ramsar COP10：サイドイベント開催「世界の水田：その生物多様性と持続可能性」	韓国・昌原市	日韓ラムネット	
11月1日	本会議で、水田決議の審議。多くの意見が出たため、共同提案国の日本政府からこの意見調整を非公式小委員会で行いたいという提案が認められ、非公式小委員会に場を移して意見調整作業を継続することになる。	韓国・昌原市		
11月3日	水田決議1次修正案が提案される。共同提案国の日本政府から追加部分について検討を求めた。	韓国・昌原市		
11月4日	水田決議2次修正案が提出され、決議X.31「湿地システムとしての水田の生物多様性の向上」として採択される	韓国・昌原市		
AFTER RAMSAR COP10				
2008年	11月25日	環境省、農水省への水田決議を活かしたCBD COP10に向けた「水田を核とした生物多様性アジアモデルへのロードマップ」を示し、円卓会議（農水、環境省、NGO、研究者、農家など）設置を提案	環境省・農水省	日本ラムネット